



令和8年4月13日
国土交通省関東地方整備局
下館河川事務所

令和8年度 下館河川事務所 事業概要

～鬼怒川・小貝川における流域治水の推進に向けた取り組み～

令和8年度下館河川事務所主要事業の概要をお知らせいたします。

利根川水系では、「令和の大改修」と銘打ち、令和元年東日本台風によって堤防天端から約1mまで水位が上がるなど既に顕在化している気候変動に対応すべく、河道対策と、既存ダムの有効活用や中止ダム予定地の活用、砂防施設の整備などの上流対策を強力に推進し、治水安全度の早期向上を目指します。

下館河川事務所では、鬼怒川・小貝川において、気候変動による災害の激甚化・頻発化を踏まえ、河川管理者が主体となって行う河川整備等の事前防災対策を加速化させることに加え、あらゆる関係者が協働して流域全体で行う、「流域治水」を推進し、総合的かつ多層的な対策のための取組を推進していきます。

令和8年度の主要事業概要は以下のとおりです。

1. 洪水氾濫を未然に防ぐための取り組み
2. 持続的な安全性の確保のための取り組み
3. 地域に元気を届けるための取り組み

詳細は別紙のとおりです。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 茨城県政記者クラブ 栃木県政記者クラブ
筑西市記者クラブ 宇都宮市政記者クラブ 筑波研究学園都市記者会

<問い合わせ先>

関東地方整備局 下館河川事務所

電話：0296-25-2161（代表） FAX：0296-25-2166

副 所 長 青木 （内線：204）

工務課長 小倉 （内線：311）

令和8年度は、以下の事業を行います。

1. 洪水氾濫を未然に防ぐための取り組み

【鬼怒川】

■樋管改築を行います (P4)

- ・^{のつめ}野爪地区（八千代町）において、老朽化した樋管の改築を行います

■堤防整備を行います (P5)

- ・^{しもかわしま}下川島地区（筑西市）において、堤防整備を行います。

■中流部において河岸の侵食・洗掘対策を行います (P6)

- ・^{しもこもりや}下籠谷地区、^{にしおおしま}西大島地区（真岡市）において、低水護岸の整備を行います。

■下流部において河岸の侵食・洗掘対策を行います (P7)

- ・^{にほんぎ}二本紀地区（下妻市）において、低水護岸の整備を行います。

【小貝川】

■堤防整備（低水護岸）を行います (P8)

- ・^{よしぬま}吉沼地区（つくば市）、^{なかうち}中内地区（取手市）において、堤防整備を行います。
- ・^{ながとろ}長渡呂地区（つくばみらい市）において、堤防整備に伴う低水護岸の整備を行います。

2. 持続的な安全性の確保のための取り組み

【鬼怒川・小貝川】

■河川管理施設の維持管理を行います (P9)

- ・洪水時等に堤防や排水施設、電気設備等が適切に機能するように、堤防除草や河川巡視を行うほか、水門や樋管、排水ポンプ、電気設備の点検・整備などを行います。

3. 地域に元気を届けるための取り組み

【鬼怒川・小貝川】

■サイクリングルート・リバースポットの測量・設計を行います (P10)

- ・鬼怒川・小貝川かわまちづくり計画の変更により延伸するサイクリングルートや整備するリバースポットの測量及び設計を行います。

令和8年度の事業費

下館河川事務所における令和8年度の事業費(令和7年度補正予算含む)は、鬼怒川約27億円、小貝川約30億円、全体で約57億円となっています。

〔百万円〕

予算科目	令和8年度(当初) + 令和7年度(補正)	令和7年度(当初) + 令和6年度(補正)	対前年度倍率
河川改修費	2,329	2,286	1.02
鬼怒川	1,366	1,320	1.03
小貝川	963	966	1.00
河川等災害復旧費	0	0	0.00
鬼怒川	0	0	0.00
小貝川	0	0	0.00
河川維持修繕費	2,712	2,329	1.16
鬼怒川	1,142	1,057	1.08
小貝川	1,570	1,272	1.23
河川工作物関連応急対策事業費	592	80	7.40
鬼怒川	184	0	0.00
小貝川	408	80	5.10
総合水系環境整備事業費	35	8	4.49
鬼怒川	25	4	7.00
小貝川	10	4	2.39
事業費 計	5,668	4,703	1.21
鬼怒川	2,717	2,380	1.14
小貝川	2,951	2,323	1.27

* 上記の他、工事諸費等があります。

* 端数処理の関係で合計と一致しないことがあります。

きぬがわ ひかんかいちく 鬼怒川 樋管改築

事業の概要

鬼怒川の堤防の整備については、堤防の幅が不足している区間を、樋管の老朽化対策とあわせて拡幅を行うこととしております。

このため鬼怒川下流部に位置する野爪地区 坪井排水樋管の老朽化対策とあわせて堤防を整備し、治水安全度の向上を図ります。

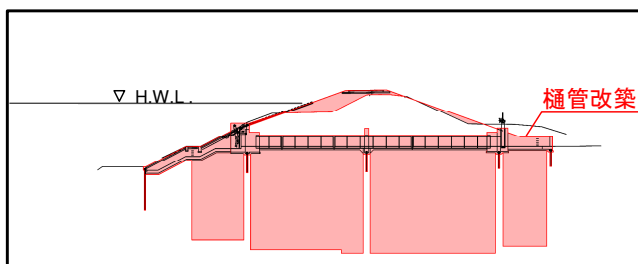


令和8年度予定

○茨城県八千代町野爪地区において坪井排水樋管改築を行います。



対策イメージ



事業の効果

○樋管改築により、洪水をより安全に流すことが可能となり、浸水被害の防止が図られます。

きぬがわ ていぼうせいび 鬼怒川 堤防整備

事業の概要

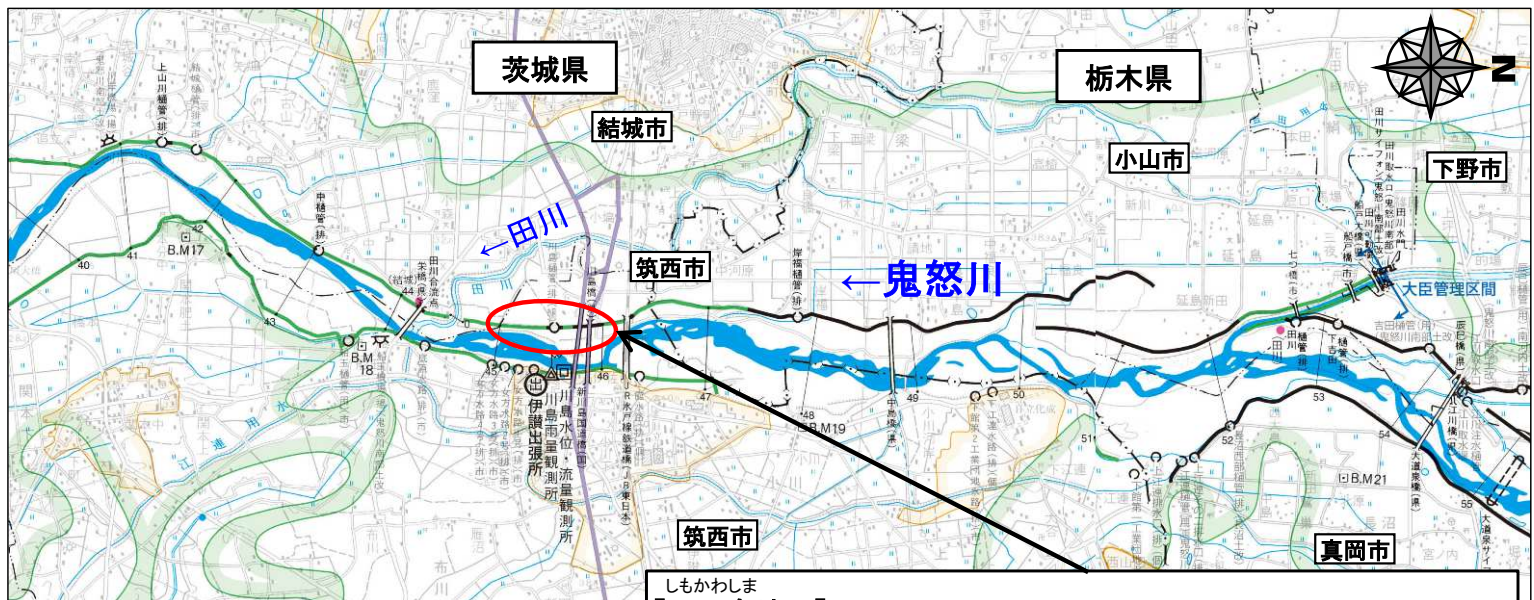
鬼怒川支川の田川沿川では、浸水被害が過去何度も発生しています。中でも、平成27年9月関東・東北豪雨では、床上・床下浸水あわせて213戸の家屋が浸水する被害が発生しました。

令和7年度に田川合流点において、水門および堤防の整備が完了したことから、水門上流側の堤防を整備し、治水安全度の向上を図ります。

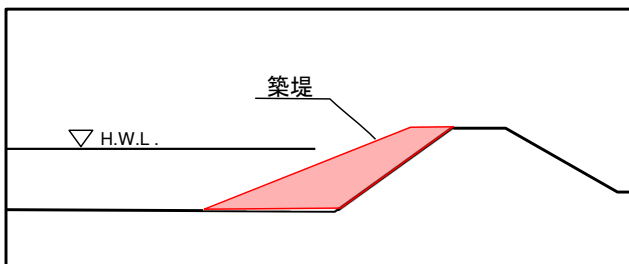


令和8年度予定

しもかわしま
○茨城県筑西市下川島地区において水門整備に引き続き堤防整備を行います。



対策イメージ



事業の効果

○堤防整備により、洪水をより安全に流すことが可能となり、浸水被害の防止が図られます。 5/10



鬼怒川 中流部河岸侵食・洗掘対策

事業の概要

頻発化する大規模自然災害等に対応していくためには、「国土強靱化施策」の更なる加速化・深化を図る必要があります。

鬼怒川中流部においては、河川整備を着実に実施するために、安心・安全を確保するための整備メニューを位置付けた「鬼怒川河川整備計画」に基づき、河岸の侵食・洗掘の防止を目的として低水護岸を整備し、堤防が決壊するリスクの軽減を図ります。

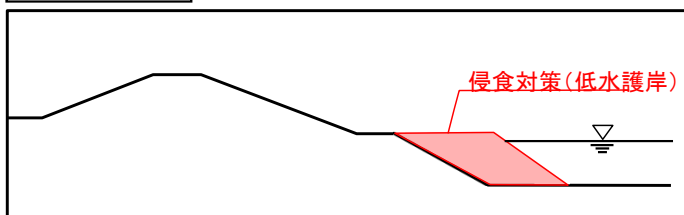


令和8年度予定

○栃木県真岡市下籠谷地区、西大島地区において侵食対策(低水護岸)を整備します。



対策イメージ



事業の効果

○低水護岸の整備により、洪水時の河岸の侵食・洗掘の防止が図られます。

鬼怒川 下流部河岸侵食・洗掘対策

事業の概要

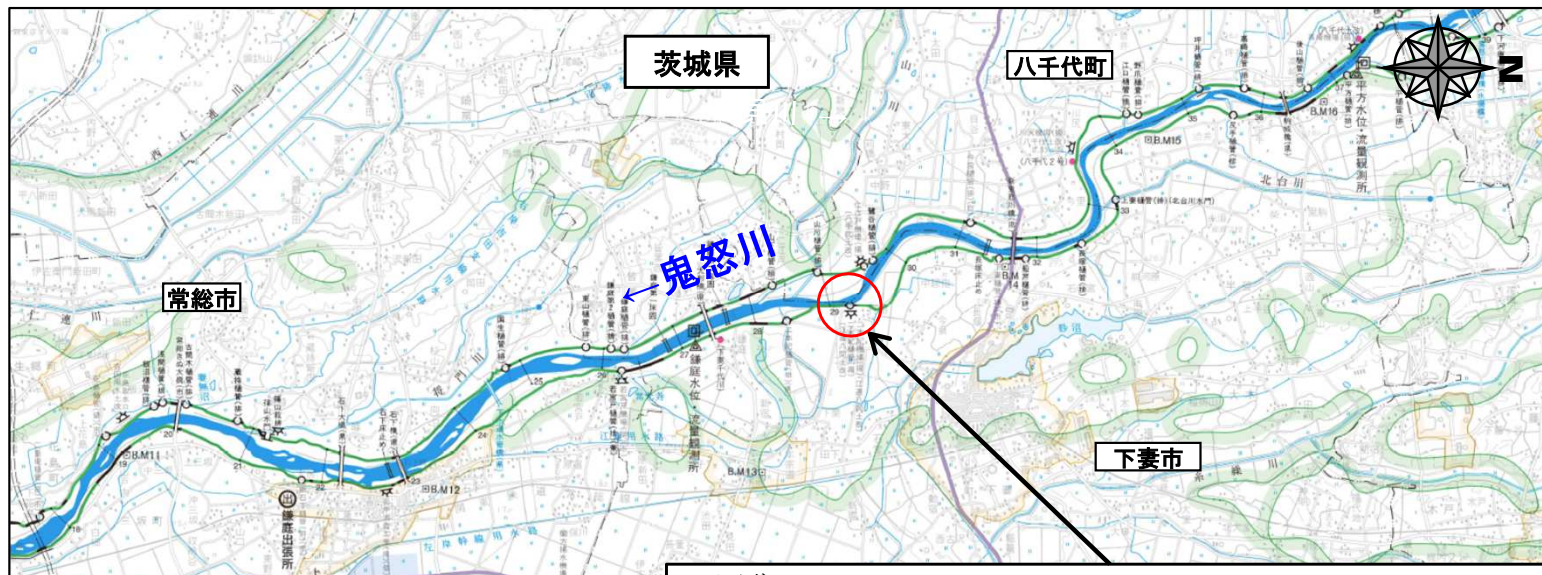
頻発化する大規模自然災害等に対応していく為には、「国土強靱化施策」の更なる加速化・深化を図る必要があります。

鬼怒川下流部においては、河川整備を着実に実施するために、安心・安全を確保するための整備メニューを位置付けた「鬼怒川河川整備計画」に基づき、河岸の侵食・洗掘の防止を目的として低水護岸を整備し、堤防が決壊するリスクの軽減を図ります。

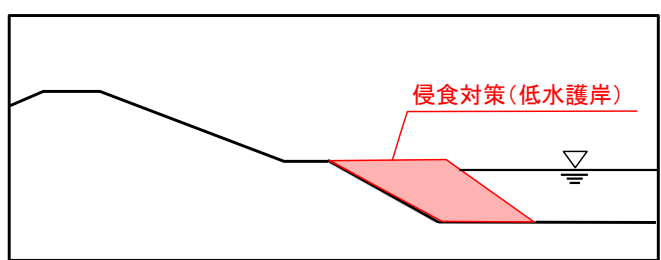


令和8年度予定

茨城県下妻市二本紀地区において侵食対策(低水護岸)を整備します。



対策イメージ



事業の効果

○低水護岸の整備により、洪水時の河岸の侵食・洗掘の防止が図られます。

こかいがわ ていぼうせいび 小貝川 堤防整備

事業の概要

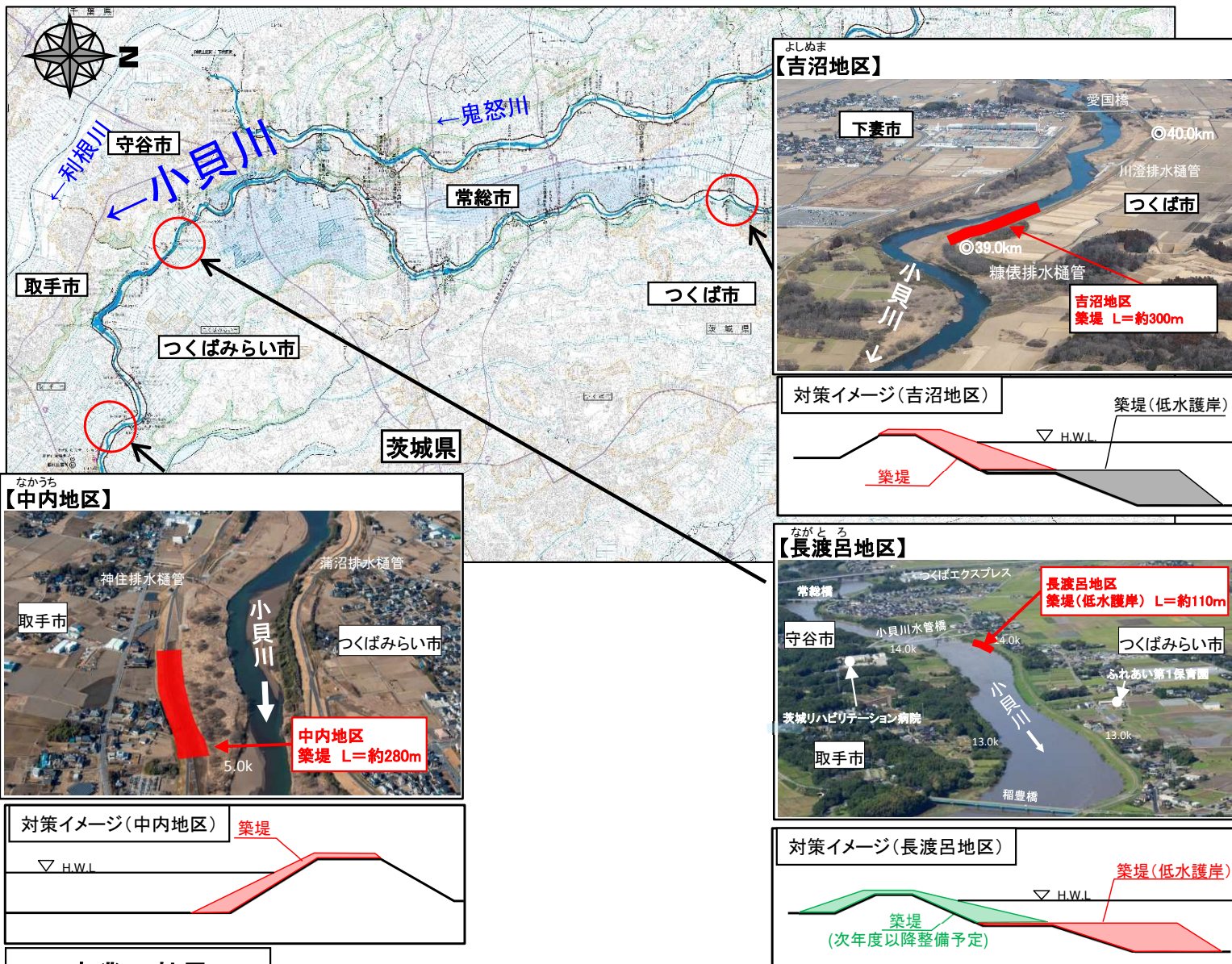
頻発化する大規模自然災害等に対応していく為には、「国土強靱化施策」の更なる加速化・深化を図る必要があります。

小貝川においては、河川整備を着実に実施するために、安心・安全を確保するための整備メニューを位置付けた「小貝川河川整備計画」に基づき、堤防の高さや幅が不足している区間の堤防等の整備を行います。



令和8年度予定

○茨城県よしぬまつくば市吉沼地区、なかうち取手市中内地区、ながとろつくばみらい市長渡呂地区において、高さや幅が足りない堤防等の整備を行います。



事業の効果

○堤防整備により、洪水をより安全に流すことが可能となり、浸水被害の防止が図られます。 8/10

きぬがわ こかいがわ いじかんり
鬼怒川・小貝川の維持管理

事業の概要

- 堤防の変状を早期に発見するため、年3回の堤防除草を実施しています。なお、堤防除草は多額の費用が必要なことから、除草機械の遠隔化や河川協力団体との連携などによるコスト縮減等に取り組んでいます。
- 堤防の健全度を保つため、事務所職員による堤防点検を行い、点検結果を踏まえ適切な補修等を実施します。
- 洪水時に水門や樋管、排水ポンプ、電気通信設備などが適切に稼働するよう、定期的な点検・整備を実施します。
- 樋管等の老朽化、操作員の後継者不足が進んでおり、ゲート更新時に無動力化などの効率化を図っていきます。また、排水機場もポンプ用エンジンの老朽化に伴い、エンジンの更新や冷却系統の簡素化を実施します。
- 河川管理施設の変状や水質事故・違法行為などの早期発見のため日常的に河川巡視を実施します。
- インフラDX推進の取組として、三次元河川管内図を活用した効率的な堤防除草を実施します。※

《 鬼怒川・小貝川の維持管理状況 》



遠隔式除草機試行

堤防除草の取り組み



職員による堤防点検



ゲートの無動力化



エンジンの更新・
冷却系統の簡素化



河川巡視



インフラDX推進

三次元河川管内図

※DX(デジタルトランスフォーメーション)

デジタル技術の活用により、人々の生活をより良い方向へ導く取り組み。

きぬがわ こかいがわ みずべせいび

鬼怒川・小貝川の水辺整備

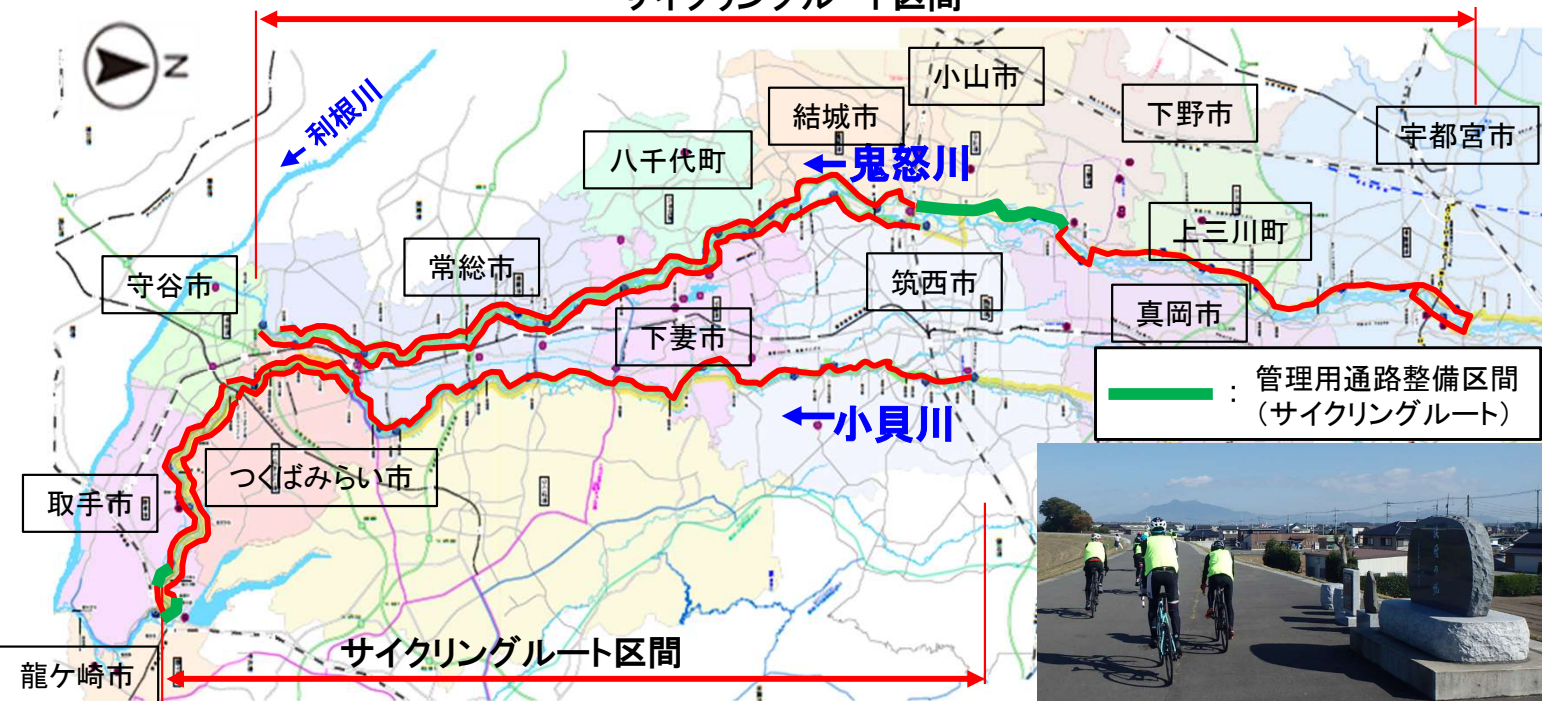
事業の概要

鬼怒川・小貝川における良好な景観や安全な水辺へのアクセス等を有する拠点を「リバースポット」として位置づけ、河川の管理用通路や鬼怒川の改修と併せて整備する工事用道路等をサイクリングルートとして活用する「かわまちづくり計画」を進めています。

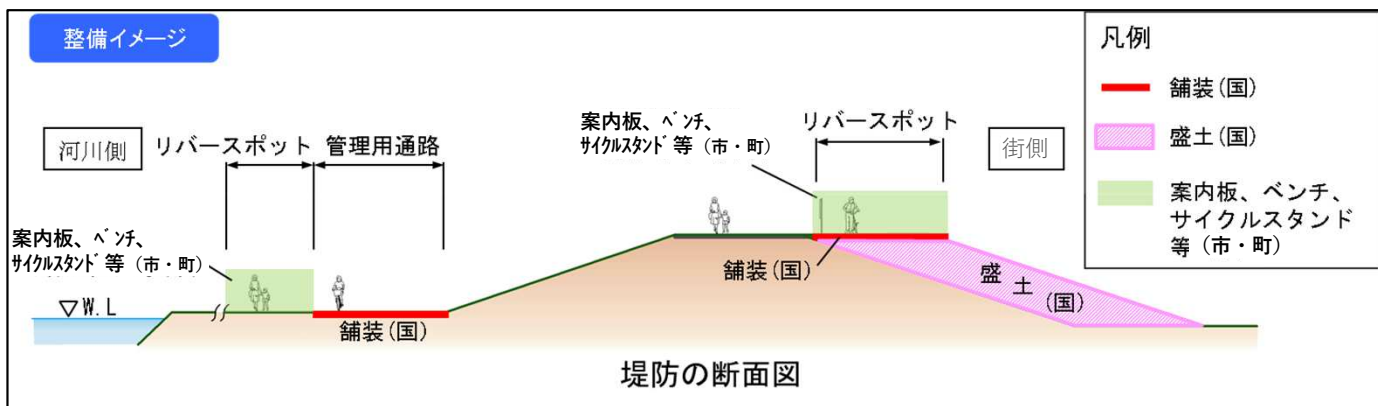
令和8年度予定

○鬼怒川・小貝川かわまちづくり計画の変更により延伸するサイクリングルートや整備するリバースポットの測量及び設計を行います。

サイクリングルート区間



整備イメージ図



事業の効果

○河川空間とまち空間が融合した良好な空間が形成され、地域の活性化が図られます。